

プログラム
活動
レポート

元気もんウォーク山の会 10月活動報告 ～「雲仙普賢岳と島原探訪」～



実施日：10月19日・20日

参加者：女5人 男5人 計10人

阿蘇は雨模様でしたが、西に向かうにつれて天気が回復。少し霧がありましたが、雨にも遭わず、予定通り普賢岳へ登ることができました。平成新山(溶岩ドーム)も時折姿を見せました。溶岩ドームは普賢岳(1,359m)より127m程高く、普賢岳からは壁のように見えます。1991年から5年余り続いた噴火は、火砕流・土石流を伴って、島原に甚大な被害を与えました。5年間の火砕流発生件数は実に9,432回に及びます。



翌日は、火砕流の熱風で全壊した旧大野木場小学校と雲仙岳災害記念館、土石流被災家屋保存公園を訪ねました。大野木場小学校は火砕流の直接被害ではなく、火砕流の熱風で全壊したことを初めて知り、火砕流の恐ろしさを再認識しました。阿蘇も中岳の活動が続いています。霧島では新燃岳が噴火をしています。他人ごとではありません。登山も然ることながら、有意義な災害研修でした。(矢野)



プログラム
活動
レポート

縫いぬいクラブ ボランティア学校支援 ～授業サポート「南西小家庭科5・6年」～



南阿蘇西小学校より今回も依頼を受け、9月15日に6年生、10月23日には5年生の家庭科の授業サポートに出向いて来ました。6年生は、修学旅行に使用する「ナップサック作り」ということで、作り方の指導をサポート。5年生は「ミシンの使い方」。初めてミシンを使うということで、最初に全体でミシンのセットの仕方を一つ一つ丁寧にわかりやすく説明。その後、それぞれの班に分かれて実践。子ども達の質問などにも応えながらサポートしました。基本的な糸のかけ方やボビンの巻き方など覚えも早く、初めてにしてはとても上手に直線縫いまでできるようになりました。

プログラム
活動
レポート

童謡唱歌教室 ボランティア復興支援 ～歌は心のエネルギー みんなで歌いましょう！のお誘い～

毎月第4金曜日の午前10時から長陽中央公民館で童謡唱歌教室を行っています。その午後



に仮設住宅にお住まいの方々と一緒に童謡を歌って少しでも楽しんでいただこうと、講師の小佐井浩子さんが企画し、10月27日の午後から長陽運動公園仮設住宅の「みんなの家」をお借りして、住民の方をお誘いし一緒に歌いました。普段なかなか歌うことがなくなり、歌詞も忘れてしまっている方も多いですが、曲を聴くと自然と歌うことができます。心を和ませる言葉の素晴らしさ、童謡は自然の美、四季折々の様子を歌っています。たまには大きな声を出して歌うのも心のエネルギーとなります。今後も月に一度、可能な範囲で皆さんと一緒に歌っていきたくと思っています。おしゃべりも弾み、有意義な時間を過ごせました。